

みやぎの木づくり運動

みやぎ材利用のススメ

〈みやぎ材活用事例集〉VOL.7

〈震災から復興した建物〉



●津波をかぶった杉を利用して建築された幼稚園舎
(学校法人平成学園あさひ幼稚園：南三陸町)

●県産材の合板・LVLを活用して建築された建物
(セイホク株式会社 第三工場事務棟：石巻市)



 宮城県

みやぎの木づくり運動とは？

県内の森林資源は、スギを中心とする人工林の成長により、良質な県産材を安定的に供給できる時期を迎えています。

この森林資源を有効利用することにより、森林の整備が推進され、ひいては森林が持つ「災害の防止」や「地球温暖化の防止」、「水資源のかん養」といった公益的機能の発揮にもつながります。

県では、一層の県産材の利用拡大を図るため、県内の市町村、関係団体、企業等と広く連携し、社会全体で県産材利用推進のPRを行う「みやぎの木づくり運動」を展開しています。

合い言葉は、～身近なところから県産材を使おう～

●みやぎの木づくり事例



①宮城教育大学教職大学院の働きかけにより、一部の中学校の技術家庭科に県産木材が使用されました。



②宮城県産合板を使用し開発したテーブル・ベンチ

●道路標識柱



■製品に関する問い合わせ先

- ①仙台市立将監中学校（荒明先生） 電話 022-373-4136
- ②(株)イトーキ 電話 022-266-3511



みやぎの木づくり運動シンボルマーク

みやぎの木づくり運動を統一的に推進するためのシンボルマークです。
みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

みやぎ材利用センター

みやぎ材製品のワンストップサービス窓口として「みやぎ材利用センター」が平成18年7月にオープンしました。

みやぎ材利用センターは、住宅や公共施設建築に使用する建築資材や土木用資材などの宮城県産木材製品を「優良みやぎ材」として安定的に供給するとともに、消費者から信用され、安心して利用していただけるよう、産地や生産者、含水率、強度などの製品情報を提供します。

製品に関するお見積もり、ご注文等は、下記の建築資材部、土木資材部、合板資材部まで直接お問い合わせ下さい。

建築資材部



●主な取扱商品

構造材（土台・柱・梁・桁など）
造作材（天井・敷居・鴨居・枠材・床材・壁面材など）・下地材などの建築用資材



県産材をふんだんに使った住宅は、住む人に暖かみと安らぎを感じさせてくれます。また、木は本来、強度・断熱性・耐火性・耐久性などバランスのとれた能力を持っています。



■問合せ先

〒983-0036
仙台市宮城野区苦竹2-7-30
（宮城木材文化ホール内）
TEL022-239-2011（FAX兼）

土木資材部



●主な取扱商品

杭丸太・加工丸太・チップ材などの土木用資材



道路の法面工事など修景を必要とする工事や、急勾配護岸工、擁壁工、流路工等に利用されています。



木製の防風垣は、塩害にも強いことから海岸地域での利用に適しています。

■問合せ先

〒981-3601
黒川郡大衡村大瓜字沓掛112
（宮城県森連大衡総合センター内）
TEL022-345-2205(代)
TEL022-345-2948

合板資材部



●主な取扱商品

県産合板
（構造用合板・型枠用合板・厚物合板・長尺合板など）



厚物合板を床に使うと、火打ち梁と根太の省略で施工が容易になり、地震に対する性能がアップします。



全国各地で、地元産合板を候補者ポスター掲示用看板として使用されています。

■問合せ先

〒986-0005
石巻市大瓜字棚橋下待井65-1
（石巻地区森林組合内）
TEL0225-93-1711(代)
TEL0225-93-1707

優良みやぎ材とは？

みやぎ材利用センターでは、宮城県産木材を原料に県内で加工された木製品について、規格や寸法、含水率などの品質を検査し、合格した製品を「優良みやぎ材」として供給しています。

認証シール

優良みやぎ材



品質を検査し、合格した木製品には、安心・安全の証として「優良みやぎ材認証シール」を貼付します。また、原木生産地名や製材・加工社名などを証明するため、「優良みやぎ材認証書」も交付します。



優良みやぎ材の検査の様子

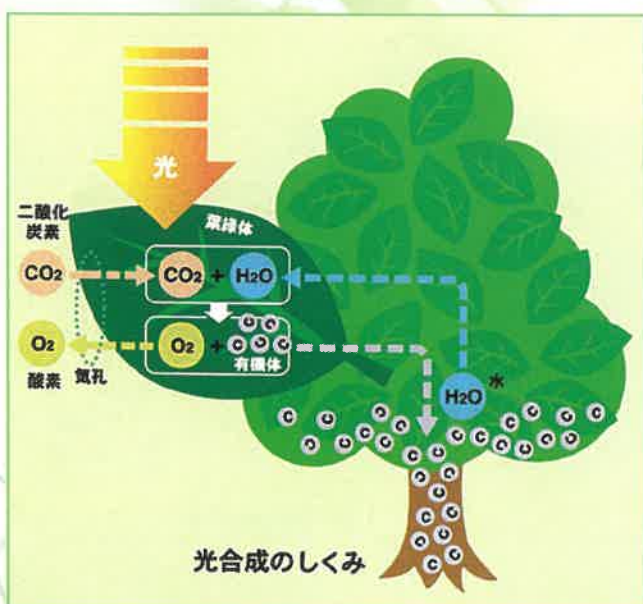


検査に合格し、優良みやぎ材認証シールを貼り付けされた木材

優良みやぎ材で建築したモデルルーム「優良みやぎ材の家」
場所：宮城木材文化ホール地内



炭素と二酸化炭素のおはなし



地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素を大気中から吸収し、蓄えてくれる森林は、植林を繰り返すことで永続的に木材を産出します。

木材で住宅等の建築物をつくることは、環境に負荷を与えないばかりか、炭素を街の中で蓄えるという、理想的な循環系を生み出します。

家1軒でどのくらい二酸化炭素を蓄えているのでしょうか？

木材1m³当たりの重量は比重が0.4なので0.4tになり、炭素の貯蓄量は重量の50%なので、0.2tとなります。この炭素の量を二酸化炭素に換算すると(炭素の量の約3.7倍)、約0.74tとなります。

したがって、住宅1棟(延床面積40坪程度)あたり、平均的な木材使用量20m³を当てはめると、吸収している二酸化炭素の量は、約15tとなります。

内閣総理大臣賞を受賞しました

平成24年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において、東日本大震災により被災した松を利用して合板にした家具の販売を取り組んだ株式会社イトーキ及び西北プライウッド株式会社が内閣総理大臣賞を受賞しました。



写真提供 株式会社イトーキ



みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業

宮城県では、県民のみなさんに安心・安全な木のやすらぎの空間を提供するとともに、その事例について広く周知することにより、県産材製品の利用促進と木造・木質化施設の普及促進を図ることを目的とし、下記の助成事業を実施しています（平成25年度）。

1 事業内容

公共施設等における木材の良さを活かした内装等、木造モデル施工及びPR活動に対する助成

2 対象事業実施主体

市町村

3 補助率等

事業費の3分の1以内

4 要件等

- (1) 木材の特性を活かしたモデル施工として工夫がなされていること。
- (2) 木材の良さ・地域材利用の意義等がアピールされ、波及効果が期待できること。
- (3) 使用材料は、品質の明確な製品である「優良みやぎ材」等を活用したものであること。

5 事業の詳細な問い合わせ先

- 大河原地方振興事務所林業振興部 電話0224-53-3249
- 仙台地方振興事務所林業振興部 電話022-275-9252
- 北部地方振興事務所林業振興部 電話0229-91-0719
- 北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部 電話0228-22-2381



- 東部地方振興事務所林業振興部 電話0225-95-1436
- 東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部 電話0220-22-6125
- 気仙沼地方振興事務所農林振興部 電話0226-24-2535
- 宮城県農林水産部林業振興課みやぎ材流通推進班 電話022-211-2912

公共施設等木質化の事例

大衡村 宮城県森林組合連合会研修施設



● 県産材（スギ）をふんだんに活用した建物です。

加美町 町営田川住宅



● 景観・周辺環境に配慮した木造建築です。

南三陸町 宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所



● 外壁にも県産材が使用されています。

角田市 角田市立東根小学校特別教室



●この学校は地元材を利用して建築された建物です。この学校で学ぶ児童が伐採・製材・加工・植林まで一連の流れを見学・体験し資源循環について学びました。

石巻市 石巻地区森林組合ウッドリサイクルセンター製品保管庫



●柱と梁には県産材（スギ）を、腰壁には県産スギ合板を使用しています。

仙台市 仙台市宮城野図書館



●県内の震災被害木を合板にした本棚です。

気仙沼市 鹿折金山資料館



●構造材及び内装に県産材（スギ）を使用しています。

県産材利用工コ住宅普及促進事業の 補助金を活用して建築した住宅



写真提供：株式会社 建築工房 創（施工業者として第14回木造住宅コンクール最優秀賞受賞（主催：宮城県木材協同組合））

● お問い合わせ先 ●

宮城県 農林水産部 林業振興課

〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

電話：022-211-2912

FAX：022-211-2919

ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk>

E-mail：rinsin@pref.miyagi.jp



この印刷物は大豆油インキを使用し印刷されています。
この「林業制度金融のご案内」は、3,500部作成し1部あたりの単価は30円です。

平成25年3月作成